

A I F A U - 1 4 サ ッ カ ー リ ー グ 2 0 1 8 名 古 屋

参 加 に あ た っ て の 確 認 ・ 注 意 事 項

【会場使用について】

- ① 天候などによるリーグ戦運営が困難な場合の決定は、各ブロックの責任者と会場担当者で行い、該当チームに連絡する。（あらかじめ連絡方法・時刻を決めておく）暴風警報発令中、雷時は絶対に行わない。酷暑（暑さ指数〈WBGT 温度 31 度以上〉）により試合実施不可になる場合も同様とする。
- ② 会場に早く到着しすぎないようにする。（試合時刻 1 時間前が目安）
- ③ 監督は、選手到着時刻には必ず会場に到着する。また、選手を残して先に帰らないこと。
- ④ 各会場とも、チーム関係者・保護者の自家用車の乗り入れには制限があるので、事前に会場担当者に確認をすること。また、各チームで保護者への周知徹底を図ること。
- ⑤ 会場での更衣場所・トイレ・練習場所については、会場担当者の指示に従う。
- ⑥ 各チームで出たゴミは、チーム・監督が責任をもって処理する。
- ⑦ ガラス、電灯、スピーカー等破損させるおそれのあるものが近くにある場所でのボールを使用したウォーミングアップは禁止です。また、ネットが破れていてボールがネットを抜けて、外の車にボールをぶつけてしまう等も考えられますので、ボールを使用する際はチーム関係者で練習場所の安全を確認するようにしてください。
また、会場や会場周辺の施設等（ガラスや車）を破損させた場合は、当該チーム又は、選手が責任をもって修復（弁償）することとします。

【試合前について】

- ① 試合成立の最低人数条件は 7 名とする。試合中退場者が出て 7 名未満になった場合は、試合不成立として中断し、不戦敗とする。（不戦敗の場合は、不戦敗チームの最大得失点差とする）
- ② ブロック代表へ事前に提出した登録用紙に試合当日先発メンバー 11 人の先発の欄に○を、交代メンバー 7 人の交代の欄に△を、当日登録外のメンバーに取り消し線を付け、当日ベンチ入りスタッフ及び使用ユニフォームの色に○を付け、試合開始 30 分前までに、本部と相手チームに 1 部ずつ提出する。監督は、選手登録用紙のコピーを保存し、試合当日 2 部持参する。
- ③ ユニフォームは、シャツに背番号・胸番号を入れ、ショーツ、ソックスとも F P ・ G K それぞれ 2 色、必ず異なる色のものを用意する。※ユニフォーム規程参照
ゴールキーパーは、他の選手や審判員と明確に識別できる別色のユニフォームを着用する。
- ④ 試合開始 5 分前に先発メンバーは、2018 年度新規選手登録用紙（JFA web 登録用紙）をプリントアウトしたものを持って集合し、メンバーチェックを受ける。
※ 選手証には、写真を貼り、本人確認ができること。
※ 中学生にふさわしい服装・髪型・態度の選手であること。装飾品×
※ メンバーチェック……選手証（web 登録用紙）、装具（スパイクの裏、すねあて、装飾品）爪の確認
※ メンバーチェックは会場校に負担がかからないように参加チームで協力して行う。
- ⑤ ボールは 1 球ずつ当該チームで持ち寄る。空気圧を 850 g/cm^2 （0.85 気圧）に調整して試合前に本部に提出すること。

【競技規定について】

- ① (公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則2018/2019」に準ずる。今大会は改正後の競技規則を採用する。審判員だけでなく、指導者・競技者も十分に理解を深めておくこと。
- ② 1日各チーム1試合を基本とする。ただし、会場、チーム事情で2試合になってもかまわない。
- ③ リーグ戦では、試合時間はすべて60分(30分—10分休—30分)とする。延長戦PK戦は行わない。
- ④ 勝ち点は、勝ちチーム3点、引き分け1点、負け0点とする。
- ⑤ 順位は、勝ち点・得失点差・総得点・該当チームの勝敗・抽選の順で各ブロックの順位・上位進出を決定する。前期リーグの上位4チームは決勝トーナメントに進出する。
- ⑥ 決勝トーナメントの1位・2位・3位(2チーム)チームを表彰する。
- ⑦ 各試合のベンチ入りは監督1名・コーチ2名・選手18名以内とする。試合開始前のピッチ内ウォーミングアップは当日登録されたチーム役員・選手のみとする。交代は最大7回まで認める。なお、再交代も可能とする。交代する時は、本部に申し出る。
- ⑧ リーグ戦中に退場を命ぜられた選手は、次の1試合に出場できない。以後の処置については本部(主管)で決定する。内容によって、協会の規律委員会で検討・決定する。試合以外でも、選手間・会場・行き帰り等でトラブルとなる行為があった場合も、同様な対処をする。
- ⑨ リーグ戦中に、通算で2回の警告を受けた選手は、次の1試合に出場できない。ただし、決勝トーナメントには、前期リーグの累積警告は持ち越さない。**(リーグ戦の最終試合で一発退場した場合は、決勝トーナメント一回戦には出場できない。)**
- ⑩ インフルエンザによる学級(学校)閉鎖等、やむを得ない理由により試合ができない場合は、日程内に実施可能であれば延期し試合を行う。ただし、試合を実施できない場合は、不戦敗とする(不戦敗の場合は、不戦敗チームの最大得失点差とする)。
- ⑪ 自己都合により試合ができない場合(生徒指導上の都合等)は、不戦敗とし、再試合は行わない。また、ブロック内の当該チームとの対戦結果はすべて無効とする。ただし、それ以降の試合は日程通り行うものとする。

【審判担当について】

- ① **全チームの指導者が必ず主審を行うこと。**主審は試合開始時刻の30分前には必ず会場に到着する。必要に応じて、ユニフォーム決定のコイントスを行う。
- ② **主審は審判服を着用し、ワッペンを着ける。**また、試合終了後、審判報告書に必要事項を記入する。
- ③ **副審が生徒の場合は、規則を良く理解している者を出す。**
- ④ 試合後は、審判技術向上のために、判定を批判するのではなく、お互いに批評し合う。
- ⑤ 今年度は競技規則の改正があるので、改定された点をしっかりと確認して判定してください。

【試合結果について】

- ① 会場担当者はその日の試合結果（勝敗、スコア、警告・退場）をブロック代表にFAX等で連絡する。**傷病人（骨折等、救急車の要請、入院）や器物破損、マナーの問題があった場合は**、メモ欄に記入し、**ブロック代表と委員長／山田中：松原**まで電話やFAX・メールで連絡する。
- ② ブロック代表は、戦績表に結果を入力し、必要に応じ、ブロック内の学校に経過を伝える。
- ③ リーグ全日程後、ブロック代表は最終結果の戦績表を添付し、直ちに委員長：松原 淳、競技委員長：伊藤 芳樹までメール送信する。
(メール宛：(山田中) yamada-j@nagoya-c.ed.jp、(大高中) odaka-j@nagoya-c.ed.jp)

【決勝トーナメントについて】

- ① 前期リーグの1位～4位までのチームが決勝トーナメントに進出する。(32チーム)
決勝トーナメント監督会議は11月19日(月) 19:00～山田中学校で行います。参加しないチームは代理抽選します。必ず参加ではありません。監督会議資料・組み合わせは、後日名古屋サッカー協会HPに掲載します。
- ② **参加費2,000円**は前期リーグと同じ口座に振り込みをしてください。(監督会議に持参していただいてもかまいません。)
- ③ 5位以下については、トーナメントやリーグ戦は行わない。前期リーグの結果は後日ホームページに掲載されます。

【その他】

- ① リーグの期間中、各会場本部に積極的に指導者は顔を出し、各ブロックの指導者の交流を深め、指導法や審判法などについてのディスカッションを行ってください。
- ② 各会場への挨拶や試合の行き帰りの交通マナー・ルールについても、十分指導をお願いします。

【審判報告書について】

- ① 主審は、試合終了後、副審に署名してもらい、審判報告書を記入し、会場担当者に提出する。
- ② 一発退場が出た場合は、審判報告書・審判報告書（重要事項）の2枚記入し、会場担当者に提出する。

【会場担当者へ】

※ 会場担当者は、主審に記入してもらった審判報告書を受け取り、リーグ終了後にブロック長に送付する。

※ 一発退場が出た場合は、審判報告書（重要事項）も記入してもらい、審判報告書とともに送付する。なお、審判報告書（重要事項）については、その日のうちに、ブロック長と野口（東陵中 fax622-0690）へFAXで送付する。